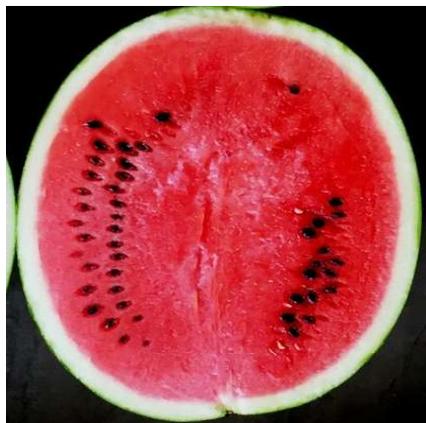


早出し栽培専用の早生で糖度が高いスイカ「あきた夏丸」シリーズ

あきた夏丸ワッセ

(秋田県農業試験場育成 農林水産省品種登録出願中)

200粒詰



(育成経過)

7月上・中収穫の早出し栽培（ハウスまたは大型トンネルを用いた整枝栽培）の「あきた夏丸」は果肉が硬く糖度も上がりにくい特性がありました。そこで、品質の高い“あきた夏丸ブランド”のスイカを長期間継続して出荷するため、交配育種により、「あきた夏丸」の早生タイプF1品種を育成しました。

(特長)

- 1 成熟日数は、積算温度で840℃（7月上旬収穫で43日前後、7月中旬収穫で40日前後）と、「あきた夏丸」（積算で920℃）と比較して4日程度早く収穫できます。
- 2 果実外観は、「あきた夏丸」とほぼ同等です。
- 3 「あきた夏丸」と比較して糖度が1度ほど高く、果肉は硬すぎず青臭さも残らないため美味しい果実が収穫できます。
- 4 普通栽培の「あきた夏丸」と組み合わせ、本県の大玉スイカを“あきた夏丸ブランド”の品種で長期継続して出荷することが可能です。

(栽培のポイント)

- 1 早生品種の特性を発揮できる早出し栽培専用品種であり、7月下旬以降収穫の普通栽培では、果肉が軟らかくなりすぎ、日持ち性も劣ることから、従来の「あきた夏丸」を用います。
- 2 草姿および草勢は「あきた夏丸」とほとんど変わらないため、施肥量等の栽培方法は「あきた夏丸」に準じます。また、定植から開花までに要する日数も「あきた夏丸」と差がありません。
- 3 早生品種の特性上、収穫適期幅は「あきた夏丸」と比較して短く、収穫遅れによる空洞果の発生には十分注意します。

栽培暦（早出し栽培）

作型	月	2月		3月		4月			5月			6月			7月		
	旬	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
ハウス整枝栽培		○	△			◎				交							□
大型トンネル整枝栽培			○	△			◎				交						□

○:は種 △:接ぎ木 ◎:定植 交:交配 □:収穫

販売元：公益社団法人秋田県農業公社 農業振興部 種苗センター TEL 0185-45-2322

品種・栽培に関するお問い合わせ先：秋田県農業試験場 TEL 018-881-3330